

教師海外研修概要

JICA の開発教育支援

グローバル化が進む現代では、地球規模で多様な課題を抱えています。

貧困・環境・人権などの課題を抱える地球が、より持続可能な方向へシフトするにはどうしたらいいのでしょうか。

持続可能な開発のための教育(ESD)にも挙げられているように、その解決に向けての鍵の1つは「教育」にあると考えられています。

相互依存が深まる世界において、開発途上国が直面する多様な課題を自分たち自身の問題として考え、その解決のために自ら行動に移すことのできる人間を育成するために、開発教育・国際理解教育への関心はますます高まるばかりです。

JICA 関西では、開発途上国における技術協力事業、資金協力事業で培った経験、人材やネットワークを活用し、国際協力出前講座、JICA 関西訪問、教師海外研修、開発教育指導者研修等の開発教育支援事業を関西地域で広く実施し、地域での開発教育・国際理解教育を支援しています。教師海外研修は、その事業の一つです。



教師海外研修とは……

I. 研修目的

開発教育・国際理解教育に関心を持つ教員を対象に、実際に開発途上国を訪問することで、開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深め、その成果を、学校現場での授業等を通じて、次代を担う児童・生徒の教育に役立ててもらうことを目的として実施しています。

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校などの教員に、JICA が協力を行っている開発途上国での10日程度の海外研修に、参加していただきます。

帰国後は、海外研修で得た経験を、参加した先生自身が自分の教室で子ども達に伝えています。さらに、その経験をそれぞれの地域において、広く発信していただき、開発教育・国際理解教育の実践者として活躍いただくこともねらいとしています。



研修国概要



ネパール連邦民主共和国 (Federal Democratic Republic of Nepal)



- 首 都：**カトマンズ
- 面 積：**14.7 万平方キロメートル（北海道の約 1.8 倍）
- 人 口：**2,649 万人（2011 年、人口調査）
- 民 族：**パルパテ・ヒンドゥー、マガル、タルー、タマン、ネワール等
- 言 語：**ネパール語
- 宗 教：**ヒンドゥー教徒（81.3%）、仏教徒（9.0%）、イスラム教徒（4.4%）他
- 政 体：**連邦民主共和制
- 主要産業：**農林業、貿易・卸売り業、交通・通信業
- GDP(名目)：**約 243 億ドル（2016 / 2017 年度、ネパール財務省）
- 一人当たり GDP：**約 848 ドル（2016 / 2017 年度、ネパール財務省）
- 通 貨：**ネパール・ルピー
- 日本の援助実績：**（1）有償資金協力（2015 年度まで、E/N ベース）1,050.26 億円
（2）無償資金協力（2015 年度まで、E/N ベース）2,049.42 億円
（3）技術協力（2015 年度まで、JICA 経費実績ベース）708.34 億円
- 主要援助国（2015/2016 年度）：**（1）インド
（2）日本
（3）英国
（4）スイス
（5）中国
- 在留邦人数：**1,107 人（平成 28 年 10 月 1 日現在、海外在留邦人数調査統計）
- 在日ネパール人数：**67,470 人（2016 年 12 月末現在、法務省在留外国人統計）

（2017 年 9 月 1 日付外務省ホームページより）

ネパールで見たこと 感じたこと

1日目~2日目



アサン地区見学

この交差点に信号がありませんでした。日本と違い信号があっても動いていないものもあります。警察官が手信号で交通整理をしていました。



バクタプル

2015年の震災時、多くの世界遺産が倒壊しましたが、復興に向けてネパールと日本を始めたくさんの国が協力して活動をしています。

指差し単語帳を使って 子どもと交流

身振り手振りのコミュニケーションが新鮮でした。



学校帰りのネパールの子どもたちに出会いました。

ネパールの子どもたちは制服で通学します。学校が朝早くに始まるので朝食や軽食を学校で食べる子が多く、道端には屋台のお菓子屋さんがありました。



スパイス作りに 挑戦！

視察先の陶器工場で働くお母さんの家に招いてもらい、キッチンを見学させてもらいました。たくさんのスパイスをこの石臼で潰していきます。



デイケアセンターの近くの聾学校の子どもたち

突然の依頼で訪問させていただいたにもかかわらず快く受け入れてもらった聾学校。みんなで「ナマステ」記念写真を撮りました。

ネパールで見たこと 感じたこと

3日目～4日目



Next Generation ～現地の学校での交流①～

災害が起こった時…
どんな行動をとることが命を守ることになるのでしょうか？
ゲームを通して生徒に伝えました。



ネパールの生徒
たちは日本のこと
に興味津々♪



世界遺産 ボダナート

被災したチベット仏教
の聖地であるボダナート
も修復され多くの方が
お参りに来ていました。
マニ車を回してお願い
ごとをしました。



Swoyambhu Community Learning Centre

オルタナティブ
スクールへ通う
子どもたちにも
出会いました。



Independent Living Center

「働くことは私たちの人権」と力強く伝えてくれたジャミュナさん
の言葉にとってもエンパワーされました！



ネパールで見たこと 感じたこと

5日目～最終日



バジャラバラヒ村の小学校 ～現地の学校での交流②～

ホームステイでお世話になったバジャラバラヒ村の小学校でも防災についてのワークショップを行いました。



NPO 法人 ラブグリーンの 活動視察

丘陵地における
自然環境に配慮
した循環型農業
による生計向上
プロジェクトの
活動視察を
行いました。

村に到着！
手作りのレイで歓迎
してくれました。



バジャラバラヒ村での ホームステイ



ヤギのエサの
収穫をお手伝い。
難しかった！



村にいくつかある水道は
共同で使っています。



あ村の
れた皆
またさん
まかせ
せんは
ん！



パシュパティナート寺院

ヒンズー教の聖地でもあるパシュパティナートの火葬場。
葬儀をされているその横で子どもたちが川遊びをしたり、
洗濯が行われたりと宗教と生命と生活が密着していました。



JICA ネパール
事務所
にて報告会

2018年度 教師海外研修 事前研修

日時：2018年6月30日（土）10:00～7月1日（日）17:30
場所：JICA関西 SR31、32

第1日目：6月30日（土）				
時間	内容	講師	研修の目的	備考
10:00 ～ 12:00	オリエンテーション ・ JICA事業概要説明 ・ 参加者自己紹介 ・ 海外研修日程説明 ・ 教師海外研修 海外安全管理セミナー	JICA関西 市民参加協力課 三浦 禎子 / 石井 潔	・ 参加者間のアイスブレイキング ・ JICA事業への理解促進 ・ 教師海外研修の趣旨についての共通認識の深化 ・ 海外での安全管理の基本をマスター（ビデオ視聴）	
12:00 ～ 12:45	昼食・休憩			
12:45 ～ 14:15	派遣国概要① ネパール社会の理解促進	特定非営利活動法人 ムラのミライ 専務理事 宮下 和佳氏	・ ネパールが抱えている課題（貧困、教育、環境、人権、ジェンダー等）について知り、独特の社会構造やカーストによる人権問題等を学ぶ	
14:15 ～ 15:15	派遣国概要② 青年海外協力隊体験談（小学校教育）	青年海外協力隊 帰国隊員 山下 さくら氏	・ JICAボランティアの理解促進 ・ ネパールの教育事情について学ぶ ・ ネパールにおける防災教育について	
15:15 ～ 15:30	休憩			
15:30 ～ 17:30	2017年度研修報告 ・ 2017年度参加者による研修及び授業実践報告 ・ ネパールでの学校交流等の意見交換 ・ 役割分担（団長、副団長、その他）	2017年度 教師海外研修参加者 および 山下 さくら氏	・ 教師海外研修での学びや気づき、授業実践に至るまでの経緯や工夫の共有 ・ 現地学校での交流内容の組み立て方 ・ チームビルディング	
17:30 ～ 18:30	チェックイン・休憩			
18:30 ～ 21:00	ワークショップ① ・ 開発教育とは ・ 開発教育手法の習得	川崎医療福祉大学 医療技術学部健康体育学科 教授 山中 信幸氏	・ 開発教育とは何かを知る ・ 考え方、手法の習得	
第2日目：7月1日（日）				
時間	内容	講師	研修の目的	備考
10:00 ～ 12:00	ワークショップ② ・ 変容的学習 ・ リサーチクエストンについて	川崎医療福祉大学 医療技術学部健康体育学科 教授 山中 信幸氏	・ 海外研修で何を学び、何を児童生徒に伝えたいかを考える ・ 授業のテーマとつながる「問いかけ」について考える	
12:00 ～ 12:45	昼食・休憩			
12:45 ～ 15:45	ワークショップ③ ・ 授業実践案の作成 ・ 授業実践案の共有	川崎医療福祉大学 医療技術学部健康体育学科 教授 山中 信幸氏	・ 授業案を実際に考え、海外研修での教材収集の準備を行う	
15:45 ～ 16:00	休憩			
16:00 ～ 17:00	渡航説明およびVISA申請手続き	株式会社 菱和ダイヤモンドサービス	・ 渡航日程の説明 ・ VISA取得にかかる手続き	・ VISA申請書類 ・ 写真
17:00 ～ 17:30	事務連絡 ・ 情報共有、報告書について ・ 事後研修 ・ 実践授業について	JICA関西 市民参加協力課 山科 恵美		

2018年度 教師海外研修 事後研修

日時：2018年8月26日（日）10:00～17:00

場所：JICA関西 SR31、32

第1日目：8月26日（日）				
時間	内容	講師	研修の目的	備考
10:00 ～ 11:00	ワークショップ①	川崎医療福祉大学 医療技術学部健康体育学科 教授 山中 信幸氏	・海外研修プログラムの振り返り ・参加者間での体験の共有	
	・海外研修での学びの整理 ・教材の共有			
11:00 ～ 12:30	帰国後の実践授業について	京都市立白河総合支援学校 教諭 大槻 一彦氏（予定）	・海外での体験を教材化するためのヒントを学ぶ ・一時的な実践ではなく長期的に海外研修での学びを教育現場で活かすには	
	・海外での経験の伝え方 ・継続した授業の取り組み方法 ・それぞれの地域での実践者となるために			
12:30 ～ 13:30	昼食・休憩			
13:30 ～ 16:30	ワークショップ②	川崎医療福祉大学 医療技術学部健康体育学科 教授 山中 信幸氏	・海外研修で得られた学びを自身のテーマに沿った実践授業に落とし込む ・授業案の共有を行い、参加者間での学びを深める	
	・実践授業計画の作成 ・授業案の共有			
16:30 ～ 17:00	事務連絡	JICA関西 市民参加協力課 三浦 禎子		
	・報告書作成 ・報告会について			

【2018年度 教師海外研修（JICA関西）ネパール 日程】

★日程：2018年8月5日（日）～15日（水） 現地8泊

日付		曜日	時間	行 程
出発日 到着日	8月5日	日	7:30	関西空港集合
			9:55	MH053 関西空港→クアラルンプール（15:50着）
			20:00	MH114 クアラルンプール→カトマンズ（22:30着）
Day 1	8月6日	月	09:00-09:30	[徒歩移動]ホテル発→JICAネパール事務所着
			09:30-11:00	【JICAネパール事務所訪問】安全・健康・事業ブリーフィング
			11:15-12:30	【JICAネパール事務所訪問】ネパールにおける学校教育・教育制度等についてのブリーフィング
			12:30-13:45	昼食
			13:45-14:30	[車両移動]JICAネパール事務所発→ダラハラ塔着→震災で倒壊したダラハラ塔見学(15分)
				[徒歩移動]ダラハラ塔発→アサン地区着
			14:30-15:45	【市内見学】アサン地区見学（現地の生活雑貨・学用品などの教材購入）
			15:45-16:00	[徒歩移動]アサン地区発→ハヌマンドカ王宮着
			16:00-17:00	【技術協力】ハヌマンドカ王宮修復プロジェクト（田井専門家）活動視察
			17:00-17:30	[車両移動]ハヌマンドカ王宮発→ホテル着
Day 2	8月7日	火	09:00-10:00	[車両移動]ホテル発→バクタプル地区 CBROディケアセンター着
			10:00-13:00	【青年海外協力隊】浅見隊員（障害児・者支援）ボッチャ指導活動の視察等
			13:00-13:15	[車両移動]CBROディケアセンター発→バクタプル中心部着
			13:15-14:30	【被災地視察】バクタプル（世界遺産）被災並びに修復状況の視察…適宜昼食
			14:30-14:45	[車両移動]バクタプル中心部発→ティミ地区着
			14:45-17:00	【市内見学】ティミ地区 陶磁器製造見学
			17:00-18:00	[車両移動]ティミ地区発→ホテル着
Day 3	8月8日	水	09:00-10:00	[車両移動]ホテル発→学校着
			10:00-13:00	【草の根技術協力事業】プラス・アーツ（NGO：兵庫県神戸市）が協力する学校訪問 現地学校での現地教員による防災教育体験
			13:00-14:00	昼食
			14:00-15:00	【学校交流】現地学校での授業参観
			15:00-16:30	【学校交流】現地学校で日本人教員による防災教育ミニワークショップ①
			16:30-17:30	[車両移動]現地学校発→ホテル着
Day 4	8月9日	木	09:30-10:00	[車両移動]ホテル発→Centre for Independent Living (CIL) 着
			10:00-12:30	【草の根技術協力事業】CIL訪問 『障害当事者による震災被災障害者のエンパワメントと主流化』事業説明
			12:30-13:00	[車両移動]CIL発→ボダナート寺院着
			15:00-15:30	[車両移動]ボダナート寺院発→Community Learning Centre
			15:30-16:30	【オルタナティブスクール見学】Community Learning Centre視察
			16:30-17:00	[車両移動]オルタナティブスクール→ホテル着
Day 5	8月10日	金	07:00-11:00	[車両移動]ホテル発→マクワンプル郡バジャラバラヒ村着
			11:00-13:00	【草の根技術協力事業】ラプグリーンによる事業の事後視察 『丘陵地における自然環境に配慮した循環型農業と景観保護を通じた生計向上(2012年-2017年)』
			13:00-14:00	昼食
			14:00-17:00	【学校交流】現地学校で日本人教員による防災教育ミニワークショップ②
			17:00	ホームステイ先へ移動
Day 6	8月11日	土	AM-PM	【生活体験】マクワンプル郡バジャラバラヒ村での生活体験
Day 7	8月12日	日	AM	【生活体験】マクワンプル郡バジャラバラヒ村での生活体験
			12:00-16:00	[車両移動]バジャラバラヒ村発→ホテル着
Day 8	8月13日	月	09:30-10:00	[バス移動]ホテル発→タメル地区着
			10:00-13:00	【市内見学】タメル地区（現地の民芸品等購入）…適宜昼食
			13:00-13:30	[バス移動] タメル地区発→ホテル着…適宜休憩
			14:00-14:30	[徒歩移動]ホテル発→JICAネパール事務所着
			14:30-16:00	【JICAネパール事務所訪問】帰国前研修報告会
			16:00-	自由時間（パシュパティナート寺院視察等）
			23:30	MH115 カトマンズ→クアラルンプール
出発日	8月14日	火	6:25	クアラルンプール着
			19:00	空港集合
			22:10	MH052 クアラルンプール→関西国際空港